

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	参加のデザイン
科目基礎情報					
科目番号	0196		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	適宜プリントを配布する				
担当教員	鶴田 佳子				
到達目標					
①参加協働の意味および参加のデザインの理解 ②ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインを行うことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
参加協働の意味および参加のデザインの理解	参加協働、参加のデザインに関する問題を正確に解くことができる。		参加協働、参加のデザインに関する問題を正確に解くことができる。		参加協働、参加のデザインに関する問題を解くことができない。
プロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインを行うことができる	模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインをほぼ適切に行うことができる。		模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインをほぼ適切に行うことができる。		模擬ワークショップのプロセスデザイン、参加形態のデザイン、プログラムデザインができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	建築計画やまちづくりにおいて、重要度を増している協働型（住民参加・利用者参加）の計画手法について、実践的に理解を深める。具体的にはワークショップの企画・運営に必要なスキルに関する調べ学習とワークショップを通じ、参加協働の意味および計画のプロセス・技法を習得する。				
授業の進め方・方法	ワークショップ形式の討議とリフレクションに基づく講義によって修得する。地域課題把握（第8回）は可能であれば対象地域現地調査を実施する。				
注意点	住民参加・利用者参加に必要な、ワークショップ企画・運営に必要なスキルについて、実践的に理解を深めること。 学修教育目標：（D-2 設計・システム系）100% JABEE基準1（1）：（d） Documents 10%				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	参加のデザインとはワークショップ体験（ALのレベルA）	ワークショップの意義を理解する。	
		2週	ワークショップスキル（アイスブレイク演習）（ALのレベルA）	アイスブレイク手法と効果を理解する。	
		3週	ワークショップ事例紹介と事例調べ（ALのレベルC）	ワークショップの具体事例から実践的活用を理解する。	
		4週	参加のプログラムデザイン-WS形式による討論と発表（KJ法演習）（ALのレベルA）	KJ法が実践できる。	
		5週	参加のプログラムデザイン-WSリフレクションに基づく取りまとめ（ファシリテーショングラフィックス演習）	参加のプログラムデザインについて理解する。	
		6週	参加のプロセス・参加形態のデザイン-WS形式による討論と発表（KJ法演習）（ALのレベルA）	KJ法が実践できる。	
		7週	参加のプロセス・参加形態のデザイン-WSリフレクションに基づく取りまとめ（ファシリテーショングラフィックス演習）	参加のプロセスデザインおよび参加形態のデザインについて理解する。	
		8週	コミュニティベースドラーニング演習 - 地域課題の把握（ALのレベルC）	コミュニティベースドラーニングの概要について理解する。	
	4thQ	9週	コミュニティベースドラーニング演習-ジグゾウ法（ALのレベルA）	ジグゾウ法について理解する。	
		10週	コミュニティベースドラーニング演習-ロールプレイ（ALのレベルA）	ロールプレイについて理解する。	
		11週	コミュニティベースドラーニング演習-WSリフレクションに基づく取りまとめ（ファシリテーショングラフィックス演習）	CBLに基づいて設計コンセプトを構築できる。	
		12週	ワークショッププログラム作成（ALのレベルC）	これまで学修した知識に基づきワークショッププログラムが作成できる。	
		13週	ワークショッププログラム作成（ALのレベルC）	これまで学修した知識に基づきワークショッププログラムが作成できる。	
		14週	ワークショッププログラム作成（ALのレベルC）	これまで学修した知識に基づきワークショッププログラムが作成できる。	
		15週	ワークショッププログラムの講評	自身の作成したワークショッププログラムを自己評価できる。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	0	50
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0